

6月3日(月)引き渡し訓練に寄せて

2024年は、予想もしない出来事から始まりました。元日の夕方に石川県で発生した「能登半島地震」です。家族が集まって「この一年が幸多い年であるように」と祈るそんな日に地震は起きました。「自然災害はいつ来るかわからない」と言うものの「よりよって元日に」と思った人も多かったことでしょう。発災直後の報道によれば、石川県では、この地震によって亡くなられた方が168名、安否が分からない方は300名を超えるとされています。また、この地震により道路は寸断、家屋は倒壊し、あちこちで断水や停電が起き、避難所生活を送っている方は2万8千人に及んだとのことでした。

そして、今日も朝6:30ころ、緊急地震速報が流れ、能登地方で震度5強を観測しました。

さて、みなさんは、「天災は忘れた頃にやってくる」という言葉を知っていますか。天災というのは、台風や地震などの「自然災害」のことです。意味は、「自然災害は、その恐ろしさを忘れた頃に再び起こるものなので、普段から油断せずに、備えなければならない」というものです。

◎東日本大震災(2011. 3. 11)の様子

私たちが一番身近で知っている大災害は、2011年3月11日の午後2:46に発生した東日本大震災ではないかと思えます。

東北地方では、最大震度7を記録しました。この震災で亡くなられた方は約2万人、未だ行方不明の方も2000名以上います。

東日本大震災が起きたのは、今から13年以上前になります。皆さんは、0歳から2歳くらいだったと思いますので、記憶にある人は少ないと思いますが、**甲府市でも震度5弱を記録**しました。

震度5弱というと、

- ・大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる
- ・電灯などのつり下げている物は激しく揺れ、棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある
- ・固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある
- ・電柱が揺れるのがわかる。道路に被害が生じること

とされています。

当時、私が勤めていた職場でも、棚にあった本や書類が床に落ちて散乱し、窓の外を見ると電柱や駐車してあった自動車が大きく揺れるのを目撃し、恐怖を覚えました。

甲府市の南側では大規模な停電も起き、電話が繋がらない状態になりました。

小中学校では、集団下校をしたり、保護者の方に引き取りに来てもらうなどしましたが、**甲府市内で一番遅かった学校では、全ての児童の引き取りが終わったのは地震発生から7時間近く経った夜9:30過ぎだったと聞いています。**当時0～2歳と小さかった皆さんを抱えていたご家族の方は、さぞ心配や不安を感じたことと思います。この東日本大震災以後、**甲府市では、震度5弱以上の地震が発生した場合は、生徒の皆さんを学校に留め置き、保護者の方に引き取りに来てもらう**こととなりました。そして、そのための訓練が、こうやって、毎年6月に行われるようになりました。

◎南海トラフ地震と甲府市

ちょうど、昨年度、山梨県が発表した大規模地震の被害想定調査結果によれば、今後、30年以内に70～80%の確率で起きると言われている「南海トラフ地震」では、甲府市では、**震度6強の揺れが起こると**されました。震度6強というと、

- ・立っていることができず、這(は)わないと動くことができない。
- ・揺れの勢いで飛ばされることがある。
- ・固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多くなる。
- ・木造の建物は傾いたり、倒れるものが多くなる。
- ・大きな地割れが発生することがある

とされています。

ぜひ、訓練に参加する時には、「天災は忘れた頃にやってくる」「その天災に備えるための訓練なんだ」と思って、**真剣に参加してください。**

機会があれば、家族の人に、13年前の東日本大震災の時、どうだったか聞いてみてください。大きな災害を体験した人から話を聞くというのも、災害に備えることになると思えます。

参考資料を載せます。ぜひ、目を通してください。

震度とゆれの状況

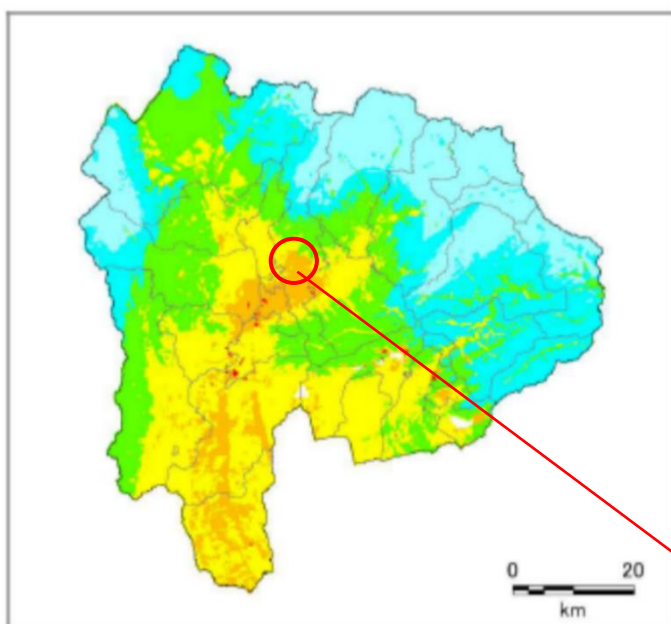
<p>0</p> <p>【震度0】 人は揺れを感じない。</p>	<p>1</p> <p>【震度1】 屋内で静かにしている人の中には、揺れをわずかに感じる人がいる。</p>	<p>2</p> <p>【震度2】 屋内で静かにしている人の大半が、揺れを感じる。</p>	<p>3</p> <p>【震度3】 屋内にいる人のほとんどが、揺れを感じる。</p>
<p>4</p> <p>【震度4】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ほとんどの人が驚く。 ● 電灯などのつり下げ物は大きく揺れる。 ● 座りの悪い置物が、倒れることがある。 	<p>5弱</p> <p>【震度5弱】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。 ● 棚にある食器類や本が落ちることがある。 ● 固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。 	<p>6弱</p> <p>【震度6弱】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 立っていることが困難になる。 ● 固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。 ● 壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。 ● 耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。 	<p>6強</p> <p>【震度6強】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● はわないと動くことができない。飛ばされることもある。 ● 固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが増える。 ● 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが増える。 ● 大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある。
<p>5強</p> <p>【震度5強】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 物につかまらなさと歩くことが難しい。 ● 棚にある食器類や本で落ちるものが増える。 ● 固定していない家具が倒れることがある。 ● 補強されていないブロック塀が崩れることがある。 	<p>7</p> <p>【震度7】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが増える。 ● 耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。 ● 耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが増える。 		

この表は、ある震度が観測された時に、その周辺で発生するゆれなどの現象や被害の目安を示したものです。

詳しい解説は以下の気象庁ホームページに掲載しています。

気象庁震度階級関連解説表 <https://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/shindo/kaisetsu.html>

今後起きるとされる南海トラフ地震の際の甲府の予想震度です



(a) 震度 (山梨県全域)



【震度等と学校の対応（市内統一）】

- 震度4以下：通常授業等の継続 又は 安全確認後生徒下校
- 震度5弱以上：学校に留め置き→保護者に引き渡し
- 南海トラフ地震関連情報
(状況に応じ以下の対応を想定)
 - ・ 学校留め置き→保護者引き渡し、
 - ・ 教師引率で下校
 - ・ 臨時休校

南海トラフ地震発生時の震度予想

西中学区は この辺りです
→「震度6強」